

西尾が誇る熱き心意気

西尾祇園祭





7月12日～14日、「西尾祇園祭」が行われ、六万石の城下町の夏を彩った。

本番への機運を盛り上げる町ぞろいや手踊りで、祭りの幕が開く。約400年続く伊文神社みこしや、時代絵巻さながらに練り歩く大名行列。大屋形などは、祭りの歴史を今に伝える。上空に漂う雨雲を振り払うかのように、みこしを担ぐ子どもたちの元気な声や、「ヨイコラ」と獅子舞を囃し立てる声が響き、伝統を受け継ぐ心意気が城下町を熱気の渦に巻き込んだ。

市民総踊り「踊ろっ茶・西尾!!」では、個性あふれる衣装を身にまとった参加者が、気持ちの一つにパフォーマンスを披露。祭りの盛り上がりは最高潮に達した。「踊ろっ茶・西尾!!」は来年リニューアルされ、新たな企画が始まる。西尾の夏をさらに熱く盛り上げてくれることだろう。

